

大分総合警備管理株式会社

Corporate data

〒870-0862
大分県大分市中尾501-4
TEL.097-548-7222



▲代表取締役社長 安東 正洋さん

「当社は創立当初から積極的な社会貢献を理念に掲げ、障がい者や高齢者の雇用にも力を入れてきました。今では障がい者雇用という概念を忘れるくらい、当たり前のこと」として根付いています。そう話すのは社長の安東さん。創業以来の理念に基づき、自ら障がい者の就職面接会に出向くなど、精力的に採用活動に取り組んでいます。

社会貢献を理念に掲げ、障がい者雇用に注力

大分市を中心に数多くの事業所から警備業務、清掃業務を受託する「大分総合警備管理株式会社」。警備業に関しては資格試験の講師を輩出するなど、警備員の指導、教育分野において一翼を担っています。また、平成11年の創業以来、障がい者雇用にも熱心に取り組んでおり、現在では6名の障がい者(身体3名、知的1名、精神2名)が在籍。様々な現場に派遣され、警備員、清掃員として働いています。

障がい者も貴重な戦力

「障がい者のことは健常者と同じ貴重な戦力として考えています。障がい特性を把握し、業務とうまくマッチングすれば健常者と同じくらい、ときに健常者以上の能力を発揮してくれますから。派遣先には障がいの有無は伝えていないという安東さん。それは「障がい者であっても高いスキルを身につけ、健常者と遜色なく働くことができる」という揺るぎない自信の表れに他なりません。実際、障がいを理由に派遣先からクレーム



▲梅野さんの後輩の田口敬人さん(左)「梅野さんの知識と行動力にはいつも驚かされています。親身になって教えてくれる先輩です」

が来ることはほとんどないといえます。「うちで働く障がい者は真面目で努力家です。現場に於いて業務を履行するためには、覚えなければならぬことが多々ありますが、問題なく習得してくれま

トラブルや不安は顕在化する前に対応

障がい者は慣れるまで上司や同僚のサポートを受ける場合もありますが、2、3ヶ月ほどで独り立ちします。「一人でできた、認めてもらった」という経験が大きな自信になり、成長につながります。これは健常者も同じです。障がいがあるからといって特別扱いするのはなく、人として真摯に向き合う—それだけで十分だと思っています。もちろん、特性に合わせた配慮は行っているのですが、皆さんいたって自然体。ちよつと顔色が変わる、様子がおかしいなと思えば大抵誰かが声をかけています。業務の一環ではなく、共に働く仲間として当たり前のようにか

けている感じですね。そんな気持ちが伝わるのか、障がい者も心を開いて、今日こんなことがあったよと気軽に相談してくれました。問題が小さなうちに対応できるので、トラブルに発展することは減多にありません。障がいの有無に関係なく、共に働く仲間として当たり前になり、支え合つ。これがこそが、障がい者雇用の理想の形なのかもしれません。

理解者に恵まれていた同社で働く障がい者は心身ともに安定し、中には障害者手帳の更新が必要になつた人もいるほど。定着率も高く、多くが中堅からベテラン社員として会社を支えています。「うちには定年がありません。ご本人がやめたいというまで働いてもらっています。現在の最高齢は84歳。障がい者もゆつくり、着実に成長できる職場です。私たちの業界は常に

人手不足ですから会社の発展のためにも、今後も意欲的に障がい者雇用を行っていきたくと思っています」そう

話す安東さんは、障がい者・企業・双方の未来を拓く障がい者雇用に大きな可能性を見出しています。

障がいがあっても質の高い仕事を提供

面接で特性、本人の希望を把握
面接結果を考慮し、一番能力が発揮できる現場へ派遣
慣れるまでは特性を把握した相動者がサポート

警備員
勤務先／大分市役所、大分刑務所、大手建設会社、舞祭場など
業務／雑務、交通警備、施設等巡回警備、駐車場警備など

清掃業務
勤務先／大分駅前に立地する都市型ビジネスホテルなど
業務／客室、宴会場などの清掃全般、ベッドメイキングなど

経験を積みながらスキルアップ。社長ほか、警備員資格の講師を務めるスタッフから直接指導を受け、国家資格にチャレンジする人も。

健常者と遜色ない仕事をするため、派遣先からのクレームはほとんどない

感謝、労い、信頼の言葉が雨あられも!

入社12年目 梅野 正敏さん
身体障がい



- 勤務場所
 - 大分市役所 (本庁舎と第2庁舎をつなぐ通路)
 - 担当業務
 - 歩行者の誘導
 - 搬入車両の誘導
 - 障がい者用駐車スペースへの誘導
 - 後輩の指導
- ※国家資格(施設警備業務2級)取得

4年前、事故で脚に人工関節を入れました。警備員は基本立ち仕事なので続けられるか不安でしたが、社長が「ゆつくり治して、またがんばりましょう」と温かい言葉をかけてくださって…。リハビリ期間中は座ってできるホテル勤務に変えてくれるなど、細やかな配慮に感謝しかありません。一緒に働く仲間も休憩室で椅子を譲ってくれたり、気を遣ってくれます。市役所の警備を長く担当しているの、仕事で、「ありがとう」「お疲れ様」と声をかけてもらうことも多いです。何気ないコミュニケーションが仕事を円滑にすると同時に、大きなやりがいになっています。市役所の方にも「梅野さんなら安心だね」とありがたい言葉をいただきました。今後は後輩の指導にも力を入れていきたいと思っています。

自分と考え、動く大愛だけと楽しい毎日

入社1年目 河野 達也さん
知的障がい



- 勤務場所
 - 大分センチュリーホテル
- 担当業務
 - 客室、宴会場、共用部(ロビーなど)の清掃

河野さん(左)と主任の佐藤久美さん

メンテナンス部で様々な現場を経験した後、半年ほど前から大分センチュリーホテルの専属スタッフとして清掃業務全般を担当しています。客室、宴会場、共用部など担当箇所が多いのでスケジュール表で宴会の予定などを確認しながら「この日は忙しくなりそうだから、前日多めにやっておこう」など清掃の段取りを考えます。私以外の専属メンバーは全員女性なので力仕事を任せられることも多いです。ホテルやお客様からクレームが入らないよう、常に丁寧な仕事を心がけています。

主任の佐藤さんより
明るく、コミュニケーション能力抜群。「少し繊細かな」という程度で障がいを感じることはほとんどありません。貴重な若手&男性なので頼りにしています。